

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

柳川範之『東大教授が教える知的に考える練習』の一節

(一) ① 今や誰^{だれ}もが大量の情報を簡単に手に入れられるようになりま
した。とありますが、そのために私達が行う必要がなくなつた
ことは何ですか。次の にあてはまる言葉を本文中からそ
れぞれ二字で抜き出して答えなさい。

の

(二) ② にあてはまる接続語を次から選び、記号で答えなさい。
ア しかし イ なぜなら
ウ そして エ たとえば

(三) ③に入る語句を本文中から三字で抜き出して答えなさい。

(四) ④ 前者・後者 ⑤ にあてはまるものを次からすべて選び、記号で答えなさい。

ア 一緒に行く相手が喜びそうなメニューがあるかどうかを調べてから店を選ぶ方法。

イ インターネットのランキングサイトを調べるなど、世の中の多くの人がよいと思っている店を選ぶ方法。

ウ 自ら店に足を運び、自分の目で店の雰囲気ふんいきのよさを確かめた上で店を選ぶ方法。

エ 値段が安く、とてもおいしいかどうかは全く気にせず、たまたま近くにあった店を選ぶ方法。

(五) ⑥ 頭の使い方についての工夫が、今ほど必要とされている時代はないのです。 ⑥ について次の問いに答えなさい。

(1) 今の時代に私たちがしなければならぬことは何であるかと筆者は言っていますか。あてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 人工知能を使って社会のために働かなくてはならない。

イ 電車には何も考えずに乗らなければならない。

ウ 世間の評価を気にしなければならない。

エ 自分の頭で考えて行動しなければならない。

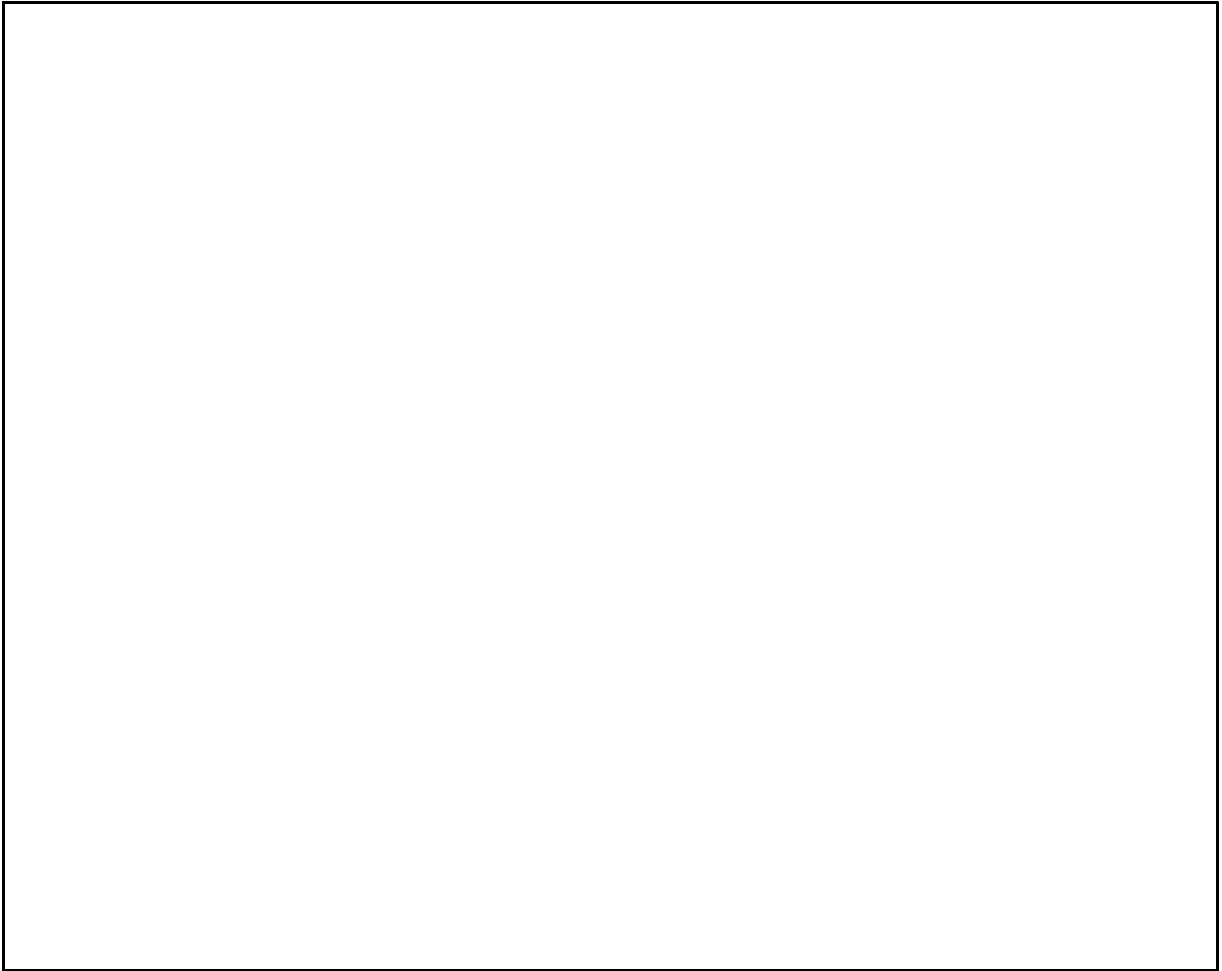
(2) 「頭の使い方についての工夫」とありますが、あなたは学校生活の中で普段からどのような「工夫」を行っていますか。

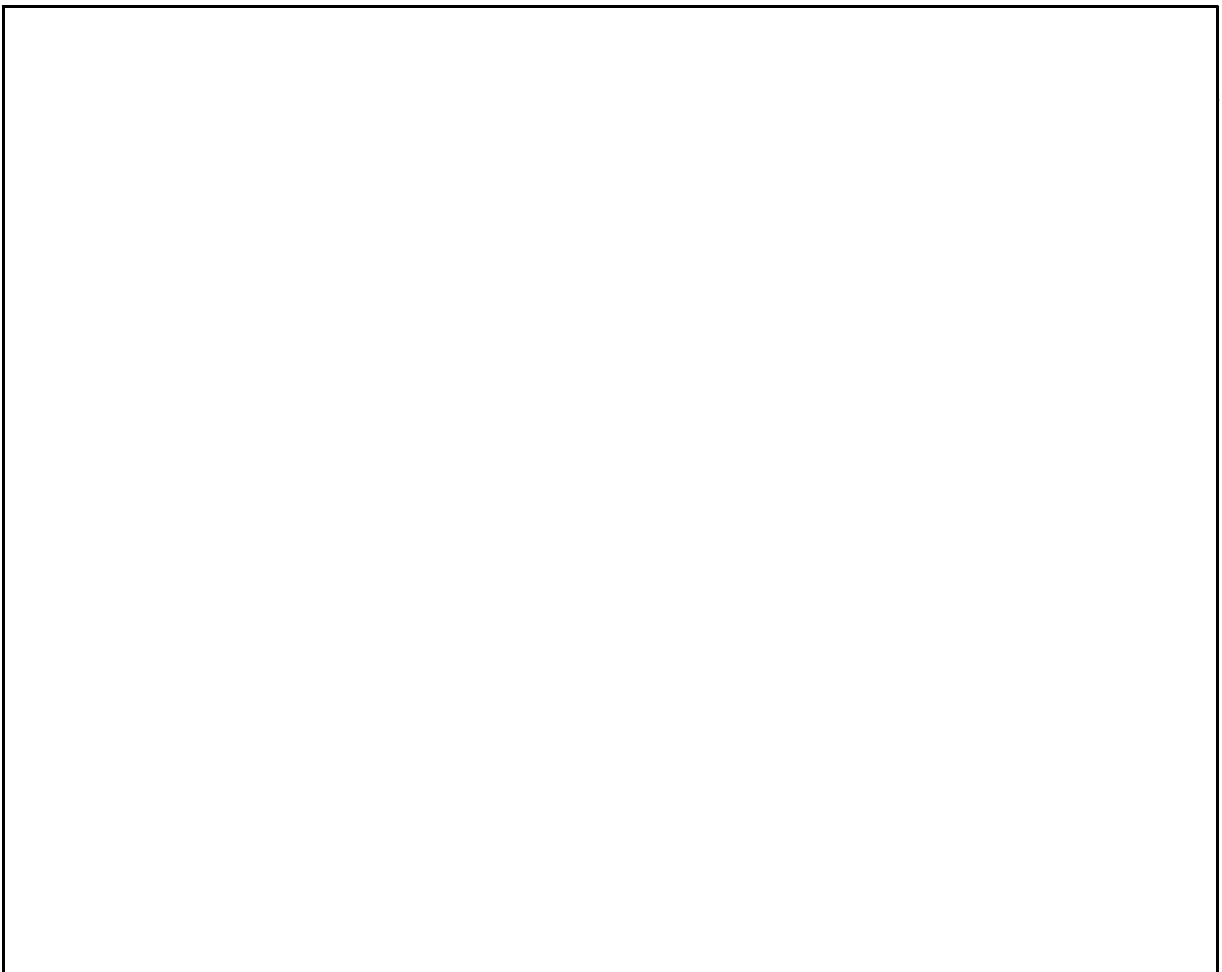
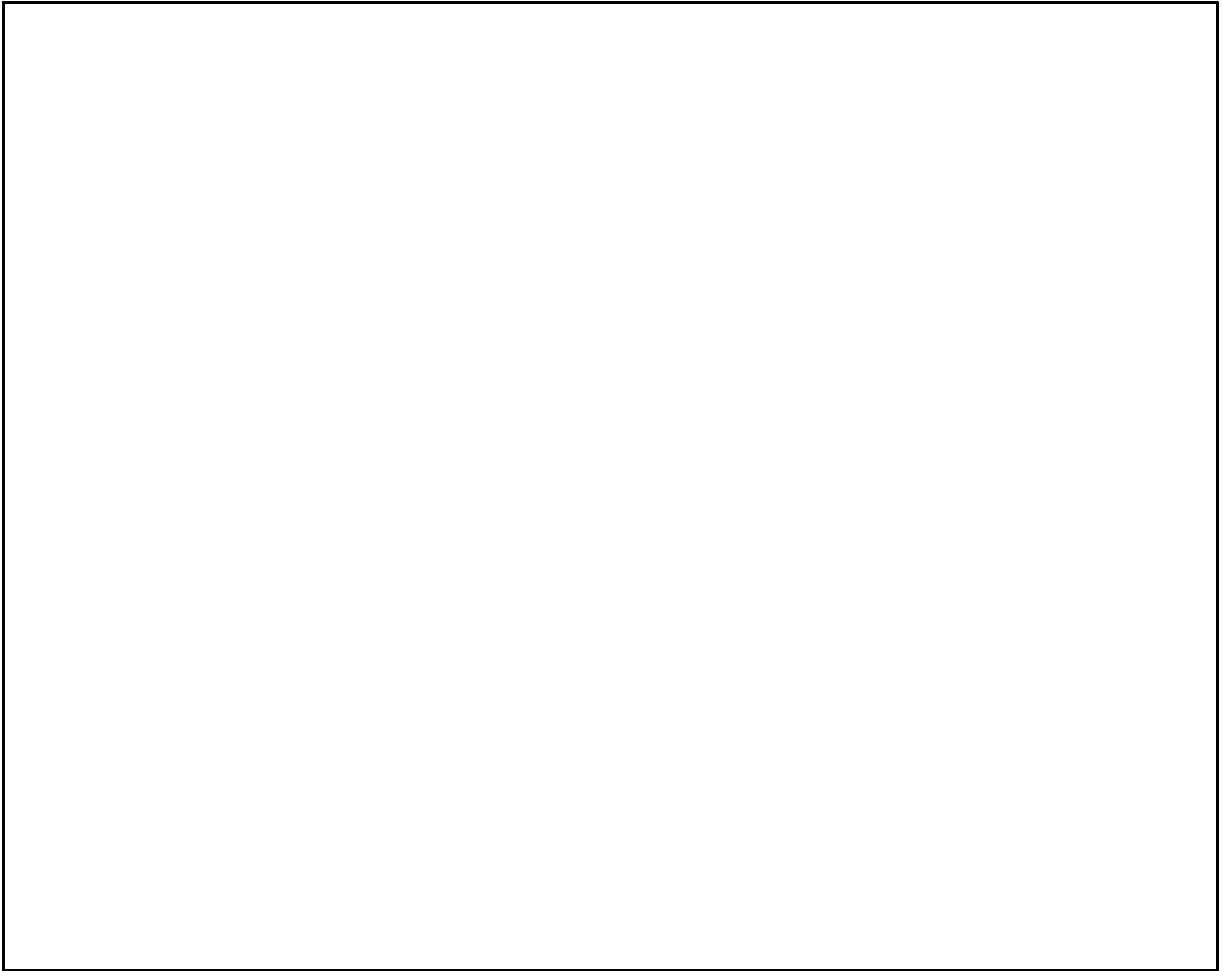
(六) ⑦ 五十五字以内で説明しなさい。
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

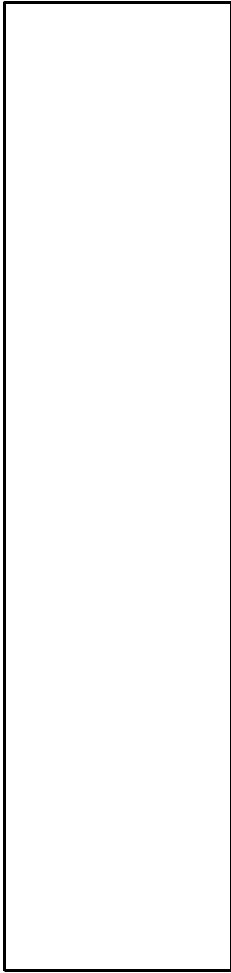
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

まはら三桃『白をつなぐ』の一節







- (一) ① 福岡は失格になるところだったかもしれない。とあります
② が、失格となってしまう行動は何かを答えなさい。
(二) ② 全身から力が抜けた。とありますが、この時の湊の気持ちを
漢字二字の熟語で答えなさい。
(三) ③ なにか、やらかさなければいけない。と湊が思った理由を本
文中の語句を用いて三十字以内で答えなさい。
(四) ④ 熊沢監督くまざわ かんていが選んだのは、海人だった。とありますが、その理
由を湊はどう考えていますか。次の文の (A)・(B) にあて
はまる二字の言葉を答えなさい。
**海人の走りには (A) があり、気持ちの面でも (B) を持っ
ているから。**
(五) ⑤ に入る一文を次から選び、記号で答えなさい。
ア 海人の姿が見当たらない。
イ でもやっぱ、走りたかったかな。
ウ 海人のそそっかしさには慣れているよ。
エ 大きなケガにならずにすんでよかったな。
(六) ⑥ 電話の向こうの父親はうれしそうだ。とありますが、それは
なぜですか。理由を四十字以内で説明しなさい。

(七) ⑦にあてはまる漢数字を入れなさい。

三 次の――部のカタカナは漢字に直し、漢字には読みをひらが
なで書きなさい。

- ① 選挙でトウヒョウする。
② オオカミのムれ。
③ フクザツな気持ちになる。
④ 布が縮む。
⑤ 砂に石が混じる。